

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

132806

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

手をつなぐ育成会事業補助金事務

担当部局・課

健康福祉部
障害福祉課

事業内容

伊丹市手をつなぐ育成会の活動に対して、資金援助を行う

事業開始(予定)年度

—

事業終了(予定)年度

—

この事業の
上位施策

これから5
年間のまち
づくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

福祉活動団体等への支援（団体補助）

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

知的障害のある児・者の保護者が主たる会員であり、知的障害のある児・者が自立して住み慣れた地域で生活していくことを実現できるよう活動を行っている、伊丹市手をつなぐ育成会の活動を資金的に支援することで、伊丹市における知的障害児・者の福祉の向上に努める。

予算費目
（複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）

（款） 民生費
（項） 障害福祉費
（目） 障害福祉総務費

（事項） 地域福祉対策費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

平成18年度(予算)

事業費

270千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市 債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

270千円

事業費

243千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市 債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

243千円

投入人員

0.03人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

投入人員

0.03人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

257千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

人件費

257千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

527千円

経費合計

500千円

活動指標

指標名(単位)

会員数（人）

計画と実績

年度

区分

H17年度

H18年度

意味・算式等

会員の確保

計画値

270

275

実績値

—

評価結果

C

上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。